災害図上訓練「DIG」を実施しました。

麻生津地区防災連絡協議会（平成 26 年 10 月 2 日）

地域の大きな地図を広げて、マジックで**「危険な場所」**や**「安全な場所」**を色分けしたり、シールを張ったりして、地域の特徴を再認識し、地域の**危険**はどこか、**災害**が起きたらどうするかなどを議論しました。

■ DIG（ディグ）を行うことにより、どのような効果があるか、大きく3つ考えられます。

○ 1つ目は、「防災上での地域の強さ、弱さを理解することができる」ということです。

○ 2つ目として、DIG を実施することにより人が集まり、出会いの場ができて、お互いに、「顔の見える関係が築ける」ということです。

○ 3つ目として、参加者もしくは関係者全員で、「情報を共有することができる」ため、「共通の認識を持てる」というところがあるかと思います。

DIG は「災害を知り」、「地域を知り」、「人を知る」ということです。